

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	THB124E	ビジネスマナー II E	
科目名（コード）	THB124	ビジネスマナー II E	
対象学科	グローバルビジネス学科	配当学年	1年生
対象コース	HB1	単位数	2単位30
授業担当者	渋谷里美	時間数	
成績評価教員	渋谷里美	講義期間	秋期
実務者教員		履修区分	選択必修
実務者教員特記欄			講義

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	国際力・人間力教育における、コミュニケーション分野の学びの中で、学生が異なる母語を持つ他者と誤解なく意思疎通できるために、身近な話題について事実や要点を明確に伝えられるようになる
全体の内容と概要	N2レベルの漢字・語彙を学ぶ。漢字や熟語を理解し、正確に読むことができるようにする。漢字については書く練習も行っていく。
授業時間外の学修	
履修上の注意事項等	出席が2/3以上の場合のみ成績評価を行う。満たない場合は単位不合格になる。

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	異文化理解① 文化の違いを理解できる	見える文化と見えない文化 総まとめ語彙N2 第2週 6日目
2	異文化理解② 共生するための努力ができる	見える文化（食べ物・衣服・音楽・ダンスなど） 総まとめ語彙N2 第2週 7日目
3	異文化理解② 共生するための努力ができる	見えない文化（誤解や衝突、価値観、時間の感覚） 総まとめ語彙N2 第3週 1日目
4	異文化理解③ 日本に関心をもつことができる	見えない文化（異文化の中で働くには） 総まとめ語彙N2 第3週 2日目
5	異文化理解④ 日本の世界遺産 日本に関心をもつことができる	日本の世界遺産① 日本の文化遺産の概要を知る 総まとめ語彙N2 第3週 3日目
6	異文化理解⑤ 日本の世界遺産 日本に関心をもつことができる	日本の世界遺産② 日本の文化遺産のうち一つを取り上げ、調べ、特徴をまとめる、総まとめ語彙N2 第3週 4日目
7	異文化理解⑥ 日本の世界遺産 日本に関心をもつことができる	日本の世界遺産③ 日本の文化遺産について調べ、特徴をまとめる→発表する（日本紹介）総まとめ語彙N2 第3週 5日目
8	自己分析① 自身を分析し経歴を述べる事が出来る	自身の経歴をまとめる 総まとめ語彙N2 第3週 6日目
9	自己分析② 自身の仕事について考える	自身の強み、自身の志向を知る 総まとめ語彙N2 第3週 7日目
10	自己分析③ 自身を上手にアピールすることが出来る	自身をアピールする 模擬面接
11	日本の「まつり」について① 「まつり」について概要を知る	日本の「まつり」について概要を知る 総まとめ語彙N2 第4週 1日目
12	日本の「まつり」について② 「まつり」について、意見を交わ	日本の「まつり」について調べて、考える→グループワーク 総まとめ語彙N2 第4週 2日目
13	日本の「まつり」について③ 「まつり」について発表する	日本の「まつり」について発表する 総まとめ語彙N2 第4週 3日目
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	どんどんつながる漢字練習帳 中級、総まとめ語彙N2
参考文献・資料等	適宜配布
備考	木曜日2限